

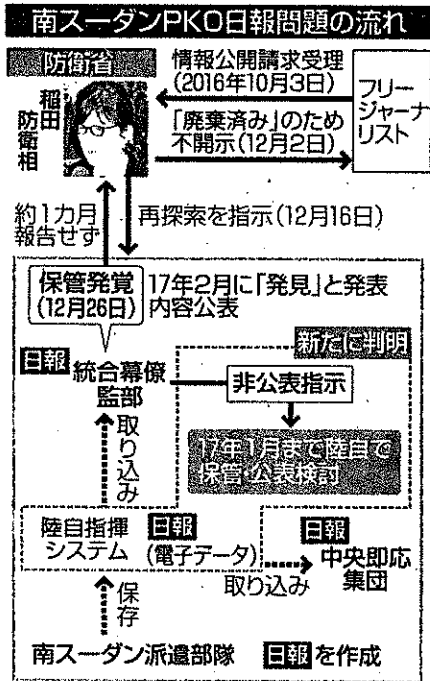
3/17 福井

PKO日報 陸自も保管

統幕幹部が非公表に

南スーダン国連平和維持活動(PKO)派遣部隊の日報を廃棄したとしながら、陸上自衛隊が今年1月ごろまで電子データで保管していたことが分かった。岡部俊哉陸上幕僚長に事実関係が報告され、陸自はいったん公表を検討したが、防衛省統合幕僚監部の幹部が保管の事実を非公表とするよう指示していた。複数の防衛省幹部が16日、明らかにした。稲田朋美防衛相(衆院福井1区)は特別防衛監察の実施を指示し、全容解明を目指す。野党は「隠蔽に次ぐ隠蔽だ」と批判を強めている。

【5面に表層深層】



特別防衛監察へ

資料は存在を伏せたまま破棄されたとの証言も省内にあるが、稲田氏は衆院安全保障委員会ですら「破棄を指示するよう」とは断じてない」と強

るべき隠蔽体質があれば私の責任で改善していきたい」と述べ、辞任を否定した。制服組トップの河野克俊統幕長は16日の記者会見で、監察を受ける事態を深刻に受け止めないといけない」と述べた。

岡部氏は同日夜の取材に日報の存在を把握していたことを否定せず「(コメントを)控えさせてください」と述べた。日報を巡っては、情報公開請求に対し、現地部隊と上級部隊の陸自中央即応集団(CR

F)が廃棄済みと回答。防衛省は昨年12月2日に不開示としたが、同26日に統幕内で電子データが発見された。今年2月にこの事実と内容を公表した。稲田氏は国会などで「請求を受けた段階で陸自に日報がなかった」と説明。しかし、省内ですら調査を進める中で、1月ごろまでは陸自内に残っていたことが分かった。関係者によると、岡部氏への報告後、公表の検討に入った陸自に対し、統幕の「背広組」と呼ばれる防

衛官僚が、保管の事実を公表しないよう指示したという。日報は現地部隊の日々の活動などを記載。2月に公開されたが、政府軍と反政府勢力

の争いを「戦闘」と表現していることについて、野党が「武力衝突」としてきた政府の説明との整合性を追及する事態になった。

失態 揺らぐ文民統制

3/17 福井

PKO日報 陸自も保管

「廃棄」されたはずの南スーダン国連平和維持活動(PKO)派遣部隊の日報が陸上自衛隊内部に残っていたことが発覚し、新たな隠蔽疑惑が浮上した。稲田防衛相(衆院福井1区)は特別防衛監察を指示して「現場の責任」を強調するが、森友学園問題とのダブルパンチ。前代未聞の失態がシブリアンコントロール(文民統制)を揺るがしている。

【一面に本記】

表層 深層

稲田氏「現場責任」強調も… 隠蔽疑惑解明 道遠く

南スーダンの首都ジュバで陸上自衛隊部隊の栄誉札を授ける稲田防衛相(上)と公開された南スーダンPKO派遣部隊の日報(左)。記者会見する岡部俊哉陸上幕僚長(右)の口ぶり。



▽集中砲火 「徹底的に調査し、隠蔽体質があれば私の責任で改善したい」。16日の衆院安全保障委員会、稲田氏は日報問題で集中砲火を浴び、「現場の」報告を疑うことはしなかつた。

たど、うつむき加減で応じることが多い。だが、この問題は自分で乗り切るしかない。▽カーン 自衛隊の根強い隠蔽体質は、これまで何度も指摘されてきた。特別防衛監察で事実解明はできるのか。

を軽視したのではなく、辞任の必要はない。だが、この問題は自分で乗り切るしかない。

▽カーン 自衛隊の根強い隠蔽体質は、これまで何度も指摘されてきた。特別防衛監察で事実解明はできるのか。

「稲田防衛相 即刻辞任を」 野党、追及強める

上した陸上自衛隊、トップを務める岡部俊哉陸上幕僚長は16日の記者会見で、現場で活動を続ける隊員へ気持を問われ、声を落とした。疑惑がら逃がっているのではないかと質問には逃げていないと捉えられても仕方がない」と漏らす場面も。自身の責任については「話す段階ではない」とした上で、「問題があれば速やかに改善する態勢をつくす」とが責務だと願う」と述べた。

「徹底的に調査し、隠蔽体質があれば私の責任で改善したい」。16日の衆院安全保障委員会、稲田氏は日報問題で集中砲火を浴び、「現場の」報告を疑うことはしなかつた。

「隠したの現場。大臣の指示を裏に出す」という形で收拾を図ろうとする政権首相周辺は勝る。稲田氏が国民

「コメントは控えたい」。16日午後、防衛省での記者会見で、陸自隊員約14万人の頂点に立つ岡部俊哉陸上幕僚長が繰り返した。特別防衛監察を担当する防衛監察本部は今後、関係者への聞き取りなどを実施するとみられるが、作業は長期化の可能性がある。岡田氏を巡っては日報の保管の事実を把握していたことが判明。特別監察では陸自幹部や岡田氏自身も調査対象になる。岡田氏は「全面的に協力する」と表明したが、現時点で判明している事実の詳細については一切口を閉ざしてしなかつた。「監察中」の名の下に関係者が沈黙し続ければ、時間の経過とともに問題が風化する可能性もある。防衛省幹部は「陸自の体制を立て直す時間を稼ぐには良い力

「ドだ」とつぶやいた。▽怒り PKO派遣部隊の日報は、昨年10月に情報公開請求されたが「部隊や隊員が廃棄した」ことを理由に不開示が決定。その後の再探索で、統合情報監部に電子データとして保管されているのが見つかり今年2月に黒塗りで公開された。だが、その公開時にも「陸自内には存在しない」と説明していた。担当部署レベルの判断か、組織的な隠蔽か。「防衛省・自衛隊を守ろうとする意識が悪い方に傾いたのかも」とある。陸自幹部は、不安をあらわにする。

「ドだ」とつぶやいた。▽怒り PKO派遣部隊の日報は、昨年10月に情報公開請求されたが「部隊や隊員が廃棄した」ことを理由に不開示が決定。その後の再探索で、統合情報監部に電子データとして保管されているのが見つかり今年2月に黒塗りで公開された。だが、その公開時にも「陸自内には存在しない」と説明していた。担当部署レベルの判断か、組織的な隠蔽か。「防衛省・自衛隊を守ろうとする意識が悪い方に傾いたのかも」とある。陸自幹部は、不安をあらわにする。

民進党の連舫代表は16日の記者会見で、南スーダン国連平和維持活動(PKO)部隊の日報データが陸上自衛隊でも保管されていた問題について「稲田防衛相は即刻辞任すべきだと批判した」。シブリアンコントロール(文民統制)が全く利いていない由々々々問題だ」とも述べた。野党は衆院安全保障委員会、稲田氏の虚偽答弁が明らかになったと追及を強めた。

「稲田防衛相 即刻辞任を」 野党、追及強める

上した陸上自衛隊、トップを務める岡部俊哉陸上幕僚長は16日の記者会見で、現場で活動を続ける隊員へ気持を問われ、声を落とした。疑惑がら逃がっているのではないかと質問には逃げていないと捉えられても仕方がない」と漏らす場面も。自身の責任については「話す段階ではない」とした上で、「問題があれば速やかに改善する態勢をつくす」とが責務だと願う」と述べた。